

金沢八景と泥亀新田と金沢区の花「牡丹」をめぐる

金沢八景 【小泉夜雨・瀬戸秋月・野島夕照・内川暮雪・乙舳帰帆・洲崎晴嵐・平潟落雁・称名晩鐘】
心越禪師が1694年に能見堂からの眺めを漢詩に詠んだことが発端、歌川広重の浮世絵などで知られ、江戸からの遊覧が盛んとなった。

泥亀新田 永島家初代祐伯(泥亀子)が1668年以降9代目忠篤(亀巢)までが関った内海の新田開発で、現在の金沢文庫駅や金沢区役所などもかつては海だったが、地名に泥亀の名がつけられた。

金沢区の花＝牡丹 区制45周年記念に選定された。かつての永島家・大橋家の牡丹庭園が有名だったが、現在は龍華寺・伊藤博文別邸・八景島などが知られている。同時選定の区の樹＝山桜

瀬戸神社 源頼朝が1180年に伊豆で平家追討挙兵の際に三島明神に戦勝祈願をした縁で、鎌倉の鬼門の守りとしてこの地に三島明神を勧請した。鎌倉時代から伝わる多数の文化財が保存されているが、源実朝が使用し、母の北条政子が奉納したといわれる能楽面二面(抜頭面と陵王面)が平成12年に国の重要文化財に指定された。

琵琶島神社 頼朝に倣って北条政子が琵琶湖の竹生島弁財天を勧請して琵琶形の島を築いて祀った。立像にて立身弁財天とも呼ばれる。例大祭(5月15日)で瀬戸神社の御神体が国道16号を渡って琵琶島神社へ渡御する。金沢八景の瀬戸秋月・野島夕照・洲崎晴嵐・平潟落雁などが望めた。

姫小島水門跡 新田開発が1703年の元禄大地震・津波の被害を受け、永島家6代成郷の時1785年に水門を設置して新田を復興した。

龍華寺 京都仁和寺の寺領で、真言宗御室派の準別格本山。本尊＝大日如来。当初瀬戸神社の別当寺の浄願寺と光徳寺が併合されて龍華寺となった。寺宝に脱活乾漆造菩薩像(天平)・阿弥陀菩薩坐(旧本尊)・阿弥陀如来坐像・地藏菩薩坐像・絹本不動明王像など多数を蔵す。永島家一族の墓がある。そのご縁から牡丹を丹精され牡丹まつりを行い、牡丹寺と親しまれている。

さみどりの一服たまふ牡丹寺 雷児 (金沢俳句・短歌ポストの受賞句)

明治憲法草創碑 憲法草案づくりを東屋で伊藤博文・井上毅・伊東巳代治・金子賢太郎らが行ったことで、昭和10年に金子賢太郎が当時の東屋の庭に建立した。

永島邸跡と永島亀巢翁功德之碑 泥亀新田で知られる永島家屋敷跡で邸内の牡丹園は泥亀の牡丹として公開され多くの見物客で賑った。

旧伊藤博文金沢別邸 明治31年に野島に建てた茅葺寄棟造の別荘で、皇太子、韓国皇太子や皇族なども訪れている。博文公没後に日産(株)を経て横浜市に寄贈されたが老朽化が進み、解体復元され平成21年秋に完成一般公開された。邸内の庭には多数の牡丹が植えられている。

海の公園 金沢地先埋立事業の一環として整備された、公園・人工砂浜で横浜市唯一の海水浴場。金沢八景の乙舳帰帆の松林も造られ、シーサイドラインからも見下ろせる。

八景島 海の公園と金沢八景大橋で結ばれた人工島で、平成5年八景島シーパラダイスが誕生した。園内には水族館・遊戯施設・マリーナ・ホテル・レストラン等を営業し、牡丹や紫陽花など四季の草花を楽しむ。平成22年2月にアメリカン・アンカレッジ記念碑(横浜開港150周年の記念事業)が設置された。